

みずほCustomer Desk Report 2020/05/11 号(As of 2020/05/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

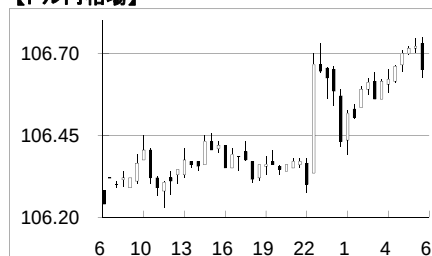
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.36
TKY 9:00AM	106.38	1.0836	115.31	1.2373	0.6502
SYD-NY High	106.75	1.0876	115.74	1.2466	0.6547
SYD-NY Low	106.23	1.0815	115.05	1.2358	0.6495
NY 5:00 PM	106.65	1.0844	115.65	1.2411	0.6533
NY DOW	24,331.32	455.43	日本2年債	-0.170	▲1.00bp
NASDAQ	9,121.32	141.66	日本10年債	0.000	0.00bp
S&P	2,929.80	48.61	米国2年債	0.1598	2.20bp
日経平均	20,179.09	504.32	米国5年債	0.3330	2.84bp
TOPIX	1,458.28	31.55	米国10年債	0.6839	4.54bp
シカゴ日経先物	20,250.00	435.00	独10年債	-0.5400	0.85bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	0.2325	▲0.05bp
DAX	10,904.48	145.21	豪10年債	0.9040	▲5.20bp
ハンセン指数	24,230.17	249.54	USDJPY 1M Vol	7.23	▲0.58%
上海総合	2,895.34	23.82	USDJPY 3M Vol	7.78	▲0.40%
NY金	1,713.90	▲11.90	USDJPY 6M Vol	8.27	▲0.31%
WTI	26.17	1.34	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	124.74	2.16	EURJPY 3M Vol	9.38	▲0.26%
ドルインデックス	99.73	▲0.16	EURJPY 6M Vol	9.85	▲0.09%

【昨日の指標等】

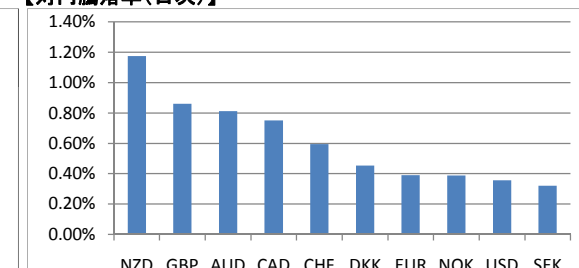
Date	Time	Event	結果	予想
5月8日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 -20500k	-22000k
	21:30	米 失業率	4月 14.7%	16.0%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	4月 4.7%/7.9%	0.4%/3.3%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	3月 -5.2%	-3.0%

Date	Time	Event	予想	前回
5月11日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	19:45	欧 メルシュECB専務理事 講演	-	-
5月12日	01:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.20-107.20	1.0780-1.0830	115.00-116.50

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は米雇用統計を控え106.23-106.45の狭いレンジで推移。海外時間に入ると発表された非農業部門雇用者数や失業率が相応の悪化は見えたものの予想ほどの弱さではなかったことや好調な株式市場の寄り付きに106.75まで上昇。
 本日は106円台後半を中心とした狭いレンジでの推移を予想。米雇用統計は予想ほどではなかったものの米経済の弱さを見せたものであった。平均時給は4.7%と急伸したが低賃金層の失業が相次いだからだろう。そのような中での上値追いは想定し難く107円台の定着には材料難か。

アジア	東京時間のドル円は106.38レベルでオープン。仲値にかけて106円半ばまで上昇するも、仲値後は106円台前半まで押し戻された。その後は、米中関係悪化懸念が一部後退したことと株式市場が堅調になると、ドル円は若干買い戻され、結局106.35レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	米中貿易協議担当者が第一段階の合意履行に向けて取り組みとの声明を発表したことから、米中関係悪化に対する不安は後退したものの、週末であることや、米雇用統計発表を控え、海外市場のドル円は106.31-45の狭いレンジでの推移が続く。106.38レベルでNYオープン。朝方は、米4月雇用統計で非農業部門雇用者数変化が2050万人減と予想(2200万人減)程減少しなかったことや、失業率も14.7%と予想(16.0%)を下回り、平均時給(前月比)は4.7%と急伸したこと、ドル円は107円台後半まで上昇。その後失業率の中には誤回答が多く、労働省は修正していないが公表の数字より5%pt高くなるなどの指摘や、賃金上昇は賃金の安い従業員からレイオフされ、一部企業で人手不足やコロナ対策のため賃上げの結果で一時的な上昇に過ぎないとの見方が強まり、106円前半まで反落する。午後はFedが国債の購入ペースを従来の1日80億ドルから70億ドルに減額することを発表し、金利が上昇する動きに、ドル円は高値106.75をつけ、106.65レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.0841レベルでオープン。朝方は米雇用統計が予想程悪くないとの見方から、ドル買いが強まり1.0815まで下落するが、ドルが急速に売り戻される展開に1.0876まで戻す。午後は再びドルが買い戻される展開にユーロドルは上値を重くし、1.0844レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・逸見